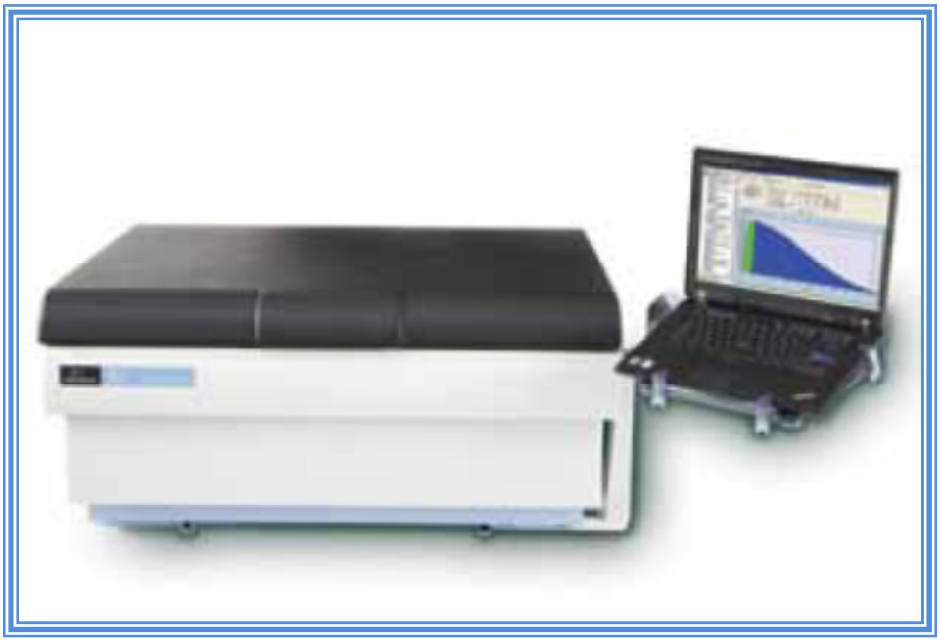
液体シンチレーションアナライザーTRI-CARB2910TR

簡易取扱説明書



㈱ パーキンエルマージャパン

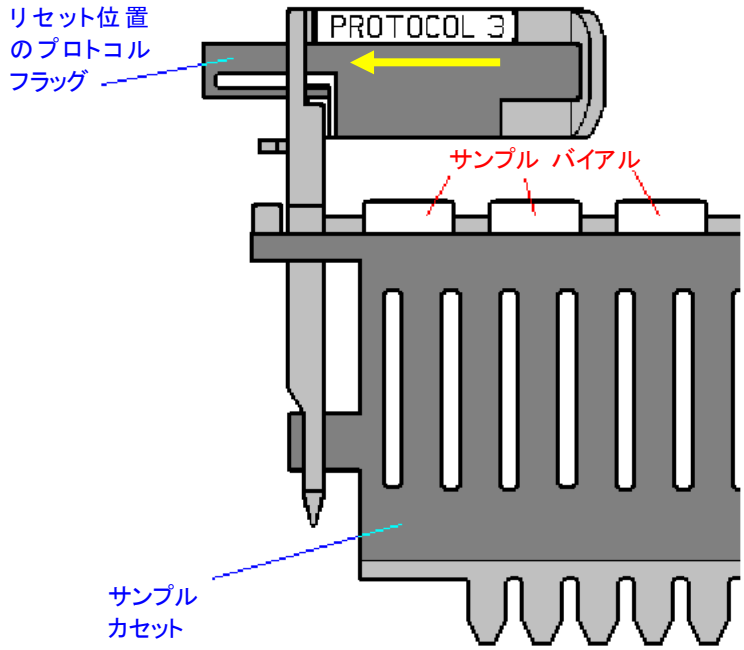
PerkinElmer
For the Better

www.perkinelmer.co.jp

. 1） バイアルカセットのローディグ

カセットは標準バイアルカセットは 12 本(15～20ml)／個 まで、ミニバイアルカセットは 18 本(6～7ml)／個 までセットできます。

以下のようにカセット内にバイアルをセットします。



＜ 図1. サンプルバイアルをセットしたカセット ＞

プロトコルの最初のカセットにはプロトコルフラッグ番号をセットし、
フラッグを左側にスライドさせておきます。
装置はサンプル測定中、カセットを左回り（ Forward ）の方向に移動します。

. 2） 装置にカセットをセットします

装置をロードするためには、フラッグのプロトコル番号があなたに直面するようにカセットをサンプルチェンジャーデッキに置きます。 もしもサンプルチェンジャー内に測定サンプルにあるならばカセットを現在の測定サンプルカセットの後方に置きます。
現在のアッセイが終了した後に、そのサンプルは測定されます。
もし装置が使用されていないならば、カセットをサンプルチェンジャ-デッキの右側奥より並べて置き、右手前壁の間にカセット 1 個分空けて、サンプルカセットを並べます。

. 3） サンプル測定

QuantaSmart メイン画面のツールバーの **カウントボタン**を押してサンプル測定を開始します。
装置は先頭カセットをポジションまで動かし、先頭のサンプルは検出器に入り測定が開始します。

メイン画面

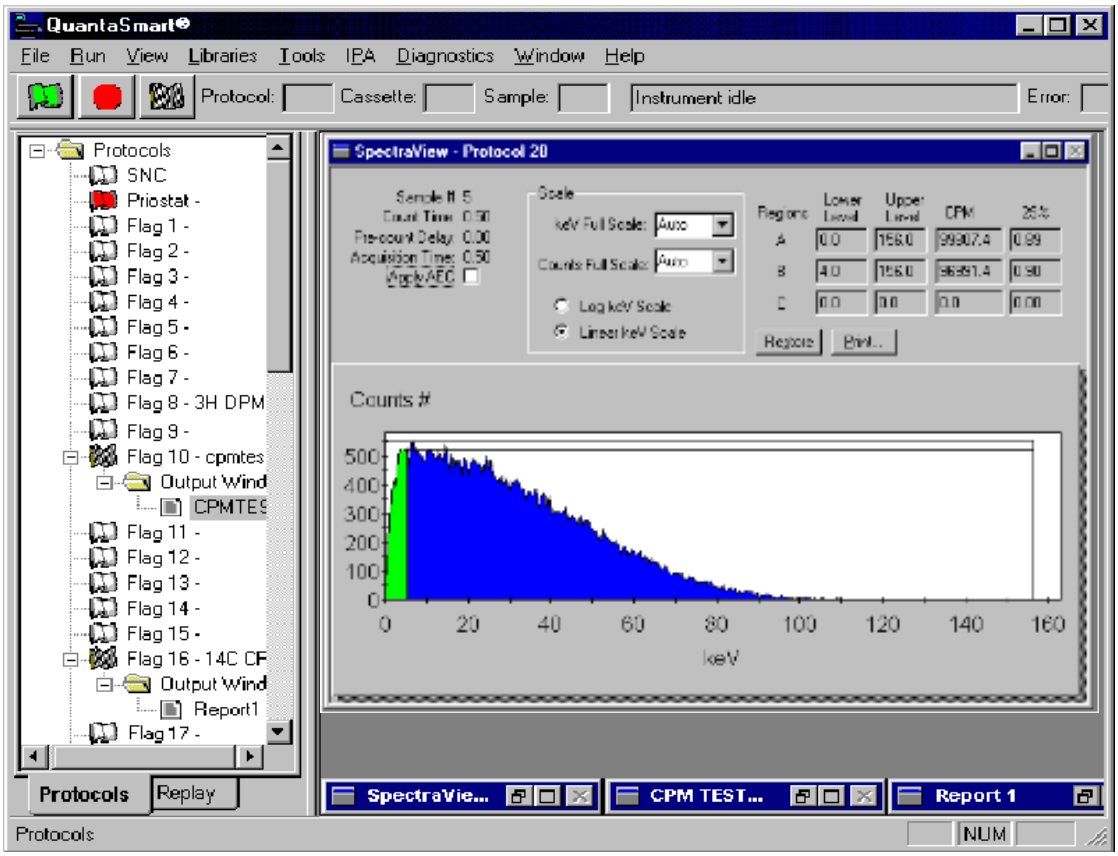


図2. メイン画面

Report Output 画面

Report0utPut 画面（ **図3.** ）は、測定データやアッセイパラメータを表示する多目的画面です。

この画面において表示される情報は、Assay Definition 画面の 5 つのタブにおいて選択したアッセイパラメータの内容です。

これらのデータ項目は、Assay Definition 画面のリポートタブの Output 画面／プリンタリポートを設定することによって変更できます。

次の頁の画面はリポートアウトプット画面です:

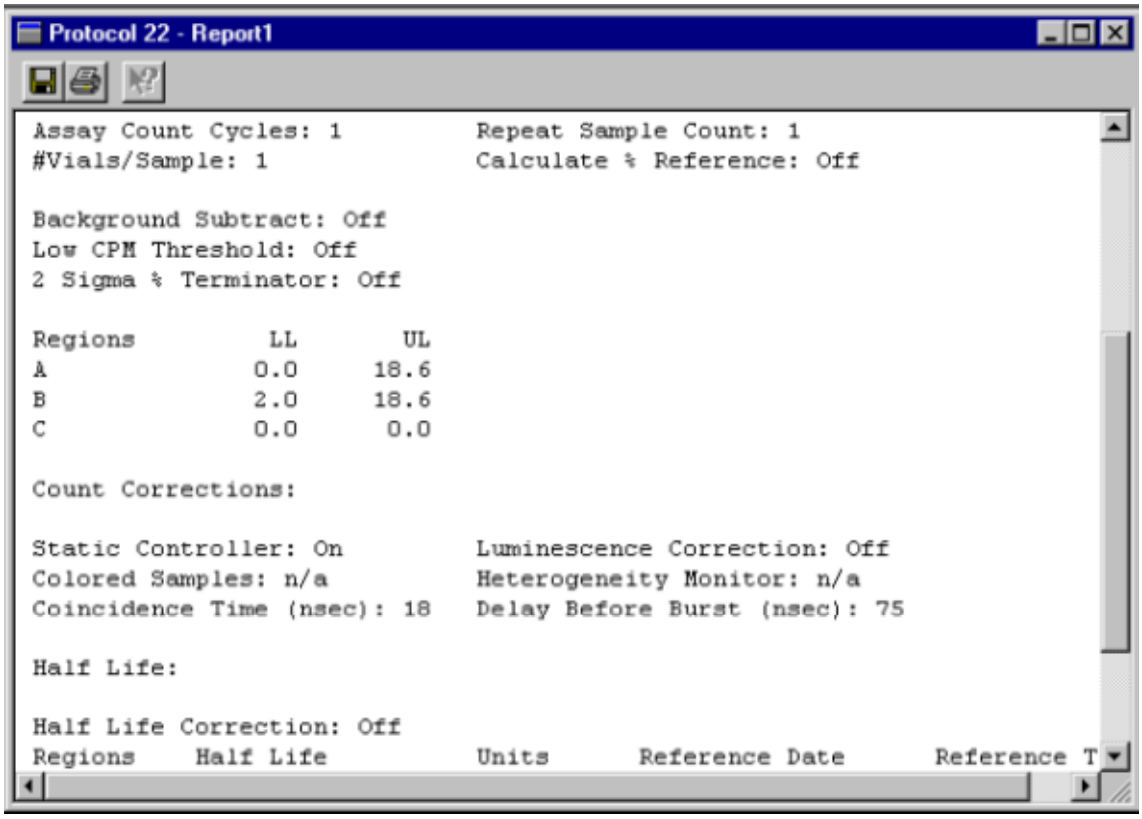


図3.　Report Output 画面

Instrument Statusバー

Instrument Status バーには、計測器を始動／停止させたり現在のプロトコルを終了させたりする時に用いられる一連のグラフィカルボタンが含まれています。Instrument ステータス バーは、現在のプロトコルの状態に関する情報を提供し、計測器からのメッセージを表示します。

図３　Instrument Status バー

メイン ソフトウェア ウィンドウの Instrument Status バーのボタンを使用して、計数手順を開始、停止および終了することができます。

Count ボタン
計数プロトコルを開始するには、このボタンをクリックしてください。

Stop ボタン
現在のプロトコルを終了し、計測器を停止させるには、このボタンをクリックしてください。

End Protocol ボタン
現在の計数プロトコルを終了し、次のプロトコルの計数を続けるには、このボタンをクリックしてください。

プロトコル ツリー

プロトコル ツリーは、利用可能なプロトコルのフラッグ番号と、フラッグ番号と関連づけられているアッセイ名を最大 60 個まで表示します。この画面には、既存のレポートも表示されます。プロトコルの実行中、このウィンドウは、どのプロトコルが実行されているのか、どのプロトコルのサイクルが残っているのか、どのプロトコルが終了しているのかを、さまざまなアイコンを用いて視覚的に表示します。

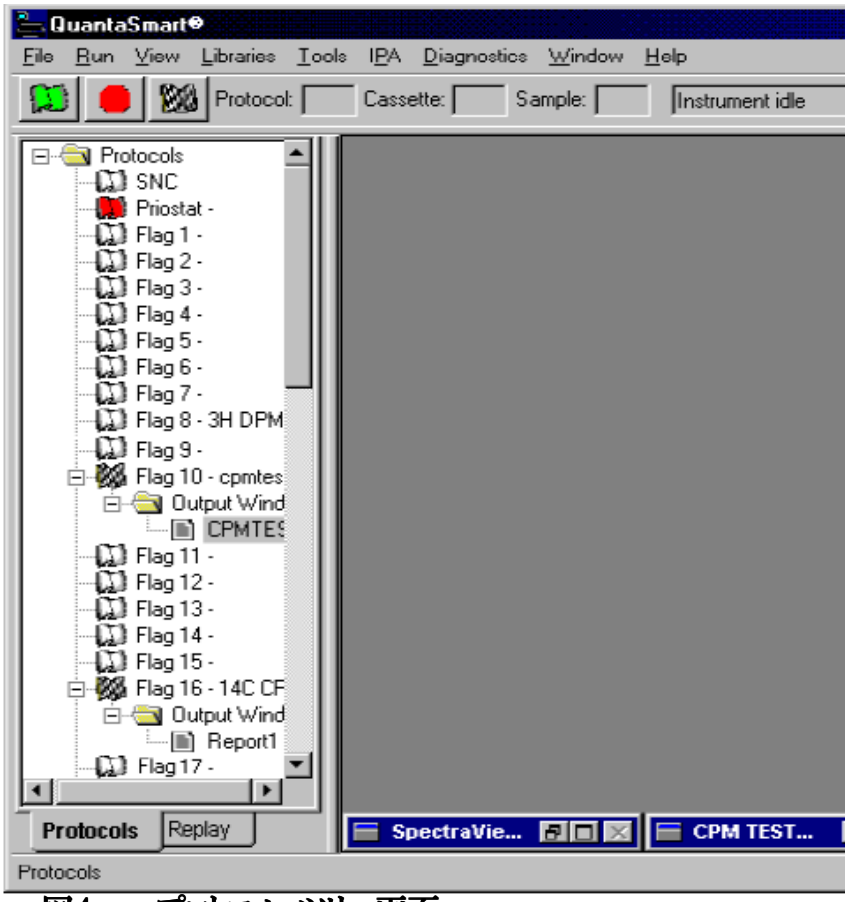


図4。 プロトコル ツリー画面

プロトコル ツリーで使用されるアイコン
サンプルの計数サイクルが開始されると、実行中のアッセイに関連づけられたプロトコル フラッグの色が白色または黄色から緑色に変化します。

図5 プロトコル ツリーで使用されるアイコン

Priostat フラッグ

プロトコル ツリーの中で **Priostat フラッグ**だけが、通常は赤色で表示されます。Priostat プロトコルが開始されるとき、このフラッグは赤色から緑色に変化します。

黄色のフラッグ

プロトコル ツリーの中に**黄色で表示されたフラッグ**は、「実行中のアッセイに対する計数サイクルは 1 つ以上終了しているが、それ以外の計数サイクルがまだ終了せずに残っている」ことを表しています。この黄色のフラッグは、Priostat 操作のためにプロトコルを中断するときにも表示されます。

チェッカー フラッグ

アッセイに対するすべての計数サイクルが終了すると、**チェッカー フラッグ**が表示されます。

赤色の禁止アイコン

赤色の禁止アイコンは、プロトコルの計数が実行不能であることを表しています。一般に、計測器が検出したフラッグ番号に対して、アッセイが 1 つも割り当てられていないとき、この赤色の禁止アイコンが表示されます。アッセイ ファイルがすでに削除されているときにもこのアイコンが表示されることがあります。

黄色の禁止アイコン

黄色の禁止アイコンは、データ解析が実行不能であることを表しています。一般に、適切な標準線源セットが Nuclide Library から無くなっているとき、または、Library の中で標準線源セットが変更されたにもかかわらず、変更後に再計数が行われなかったとき、この黄色の禁止アイコンが表示されます。

ページ アイコン

ページ アイコンは、このアッセイについてはレポートが定義済みであることを表しています。プロトコル ツリーでは、このアイコンの右隣にレポート名が表示されます。

白色のフラッグ

白色のフラッグは、動作していないプロトコルを表します。このフラッグの隣にアッセイ名が表示されていなければ、このフラッグをアッセイと関連づけることができます。

Replayツリー

Replay（2810ではオプション、2910、3110および3180では標準装備）は、既収集データの入ったフォルダーのディレクトリーを表示します。この中のデータは、サンプルの再計数を行わなくても、異なるデータ整理条件を使った再解析ができます。

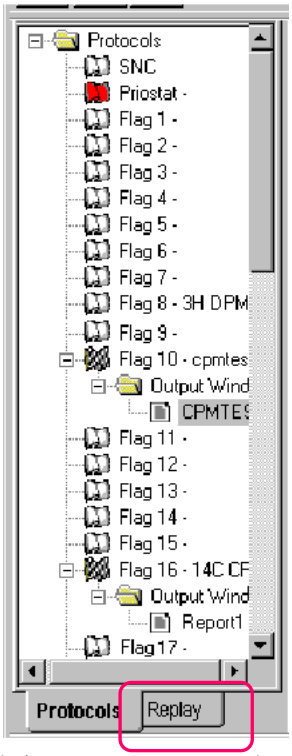


図6.　Replay ツリー画面

注記：Results フォルダーをダブルクリックすると、Replay ツリーが表示されます。

Replay ファイルはデータ保存パスがあらかじめ指定されていますが、Report Output ウィンドウで変更可能です。デフォルトのファイル名には自動的に番号が順次付与されます。